

2013年 9月11日

京丹後市長
中山 泰様

米軍基地設置反対丹後連絡会 連絡先：0772 - 68 - 0261

代 表 岩崎 晃

米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求める京都府民の会
(略称：京都に米軍基地いらない府民の会)
連絡先：京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階
京都総評内 京都共同センター気付
電話 075-801-2308 FAX075-812-4149

代表委員 共同代表

米軍基地建設反対丹後連絡会代表	岩崎 晃
京都総評議長	吉岡 徹
京都平和委員会会長	岡田 英樹
京都自治労連委員長	池田 豊
新婦人京都府本部会長	森下 総子
自由法曹団京都支部幹事長	中村 和雄
安保破棄京都実行委員会代表委員・京教組委員長	河口 隆洋
京都府商工団体連合会会長	久保田憲一
京都民主医療機関連合会会長	尾崎 望
事務局長 京都平和委員会理事長	戸田 昌基

**住民合意のない米軍基地設置「受け入れ」について、条件を提示し、
事実上、了承の表明をしたことに抗議し撤回を求めます**

貴職は、京丹後市経ヶ岬への米軍基地の設置について、京都府知事とともに、9月10日に上京のうえ小野寺防衛大臣との会談をしました。貴職は、10項目の確認(条件)を提示し、小野寺大臣の「政府が責任を持つ」との回答をふまえて、直後の報道陣の質問に「市民には不安の声もあるが、苦渋の決断として事実上受け入れる」(朝日)と答えられました。

しかし、住民や議会の理解を得ることなく防衛省に条件提示を行い、事実上の受け入れ表明は、住民不在の行為として断固抗議します。

そもそも、貴職が示されてきた確認事項は、日本環境管理基準にもとづく米軍の環境評価の事前実施にふれず、レーダーの出力・諸データの事前提示や救難・ドクターヘリの安全運航等に関する住民の不安や危惧に対し、防衛省が不十分な説明しかしていないことへの批判をしていません。何よりも、アメリカの核戦争計画の最前線の目となる米軍専用レーダーであり、日本の防衛に資するとは名ばかりであることについての問題指摘もないものです。貴職が提示された10項目の確認(条件)に、住民説明会において厳しい批判や不十分さ・問題指摘がでたことは当然です。

また、「政府が責任を持つ」と言いますが、この間のヘリ墜落事故や、頻繁に起こる米軍の犯罪で、政府が責任を持つことができなかつたのが事実であり、こうした無責任な大臣発言で解決できる問題ではありません。

私たちは、京丹後市経ヶ岬への米軍基地設置は、地元住民の生活や営みに大きな影響を与え、安全安心を損ない、山陰ジオパークの自然や文化、動植物の生態を脅かすものであり、断固反対します。

私たちは、貴職に、あらためて、米軍専用レーダー基地設置受け入れに反対することを求めるものです。

以上